

第1編 法人全体の部

1 中期事業計画の推進

「中期事業計画」は、令和元年度から5年間に解決すべき課題等を明らかにした上で、事業運営に取り組むため策定したものである。計画1年目となる令和元年度は、4つの基本方針について、次のような考え方のもと、個別の事業を実施しました。

① 利用者の人権尊重と福祉サービスの質の向上

利用者一人ひとりの尊厳と人権を尊重し、希望に基づく自立生活を支援するとともに、利用者の安全・安心と満足感に満ちた福祉サービスを提供するよう努めました。

② 地域における公益的取組みと情報発信

地域に開かれた事業経営を目指すため、情報公開を積極的に進めるとともに、公益的な取組を推進するよう努めました。

③ やりがいある職場環境づくりと人材育成

福祉サービスの継続と発展のために、全ての職員が生き活きとやりがいを持って働ける職場環境づくりと人材育成に取り組むよう努めました。

④ コンプライアンスの徹底と公正で透明性高い組織構築

マネジメントについては、コンプライアンスを徹底するとともに、公正かつ透明性の高い組織体制を構築し、健全な財務規律を確立するよう努めました。

2 重点取組の状況

(1) サービスの質の向上と人材育成

職員の資質向上や専門知識の取得、高度な看護技術が求められており、これらの課題を克服するよう、外部の研修会へ積極的に派遣（年間延べ84名）するとともに、「社会福祉士」「精神保健福祉士」など利用者の支援に有益な資格の取得を促進するため助成制度を用意。令和元年度は、2名が精神保健福祉士資格を取得。これらの資格取得者の数は、社会福祉士6名、精神保健福祉士3名となりました。

(2) 権利擁護の徹底

職員に対し人権の擁護及び虐待の防止等に関する研修を行い、常に利用者や保護者に対して人権の擁護及び虐待の防止等に意識を持って支援してきました。

(3) リスクマネジメントの強化

緊急時だけでなく、普段からリスクを前提にした思考や行動ができるよう、職員間で話し合うとともに、訓練を重ねてきました。

■避難訓練・火災訓練等		表中「訓練・備蓄等」の項目で「※」を付したものは新築した「防災棟」に収納	
訓練・備蓄等	具 体 的 内 容	実施状況等	
○火災避難訓練	・非常ベルにより訓練	月1回	
○消火訓練	・地元消防団の指導による訓練など(8・3月)	年2回	
○地震・津波避難訓練	・館内マイクによる訓練	月1回	
○AED操作訓練	・阿南市消防署の指導による訓練(10・11月)	年2回	
○非常食の備蓄 ※	・水、白飯、五目飯、ドライカレー、パン、缶詰等	1,200食分	
○非常時の水の備蓄 ※	・飲料水2リットル入りペットボトル	600本	
○災害用品の備蓄 ※	・ポータブルトイレ、タオル、毛布、懐中電灯等	非常時使用	
○防犯装置	・セコム(株)に警備委託。別に防犯カメラ設置。	防犯カメラ5台設置	

■新型コロナウイルス感染防止対策

今年2月中旬以降、国内でも感染の拡大が見受けられるようになってきたことから、当法人では外部からのウイルス持ち込みを防ぐとの観点から、次のような取組を実施してきました。

- ・ 職員、利用者とも「マスクの着用」「手指消毒の徹底」を図りました
- ・ 利用者には、定期的に検温を実施し、37.5度以上の場合は他の利用者から隔離しました
- ・ 園舎内の消毒の徹底を図るとともに、窓を定期的にかけて、空気の入れ替えを行いました
- ・ 3密（密閉・密集・密接）を避けるため、外部の会議・研修会への参加を控えるとともに、淡島祭をはじめ、外部の方も交えた園内でのイベントを中止しました
- ・ 3月の前半2週間、通所による生活介護の受入れ休止、入所者の外泊の取りやめ、面会の制限などを実施しました

(4) 財政状況の安定化

上質なサービスを安定的に提供するためには、財政基盤の安定が不可欠です。そのためには、常に無駄な支出を減らすとともに、利用率向上による収入増を目指しました。

(5) 施設・設備の整備

現在地への新築移転から17年が経過し、施設の修繕や設備の更新が必要となっていることから、社会福祉充実残額を活用して、防災棟の新築、施設の改修等を行うとともに、器具及び備品の整備も進めてきました。

■社会福祉充実計画に基づく施設等の整備			
計画年度	事 業 の 概 要	事業費(千円)	備 考
① 平成29年度	・ 居住棟、食堂等の照明器具をLEDに取替	7,668	実績額
② 平成30年度	・ 作業棟エレベーター設置、作業棟等の空調設備取替等	61,560	//
③ 令和元年度	・ 倉庫を取壊し、防災棟(仮称)を新築	150,836	//
(事業費の計)		220,064	

■施設・設備等の整備状況

金額の前に「※」がついている項目が、2pの「社会福祉充実計画に基づく施設等の整備」の表中③の施設整備分

No	施設・設備等の整備箇所等	整備の状況			
		取得時期	整備の内容	金額(千円)	業者名
1	防災棟新築工事に係る設計監理業務委託	令和元年 11月12日	・ 防災棟新築工事に係る基本設計、実施設計業務及び監理業務の委託	※ 7,000	・ 岩根建築設計事務所 ・ 岩根善久
2	防災棟新築工事	令和元年 11月12日	・ 防災棟新築工事一式の請負	※ 140,292	・ 清水建設(株)
3	防災棟他サイン工事	令和元年 11月12日	・ 防災棟のサイン工事の他、管理棟・作業棟の既存サインの付替工事	※ 462	・ 清水建設(株)
4	防災棟屋上ヘリサインフィルム設置工事	令和元年 11月12日	・ 災害時に救援ヘリから学園が容易に確認できるようヘリサインを設置	※ 1,023	・ 清水建設(株)
5	防災棟追加工事(1)	令和元年 11月12日	・ 防災棟3階荷物用エレベーター横に倉庫を設置する工事を追加	※ 126	・ 清水建設(株)
6	防災棟追加工事(2)	令和元年 11月12日	・ 消防署から指摘された箇所の追加工事ほか	※ 1,933	・ 清水建設(株)
7	倉庫解体に伴う什器類撤去処分	平成31年 04月18日	・ 防災棟新築に伴う既存倉庫撤去の際倉庫に収納していた不用什器類を処分	302	・ (株)徳島機械センター
8	パソコン購入	令和元年 11月12日	サポート切れとなるWindows7搭載パソコンをWindows10搭載のパソコンに置換	1,481	・ (株)金剛
9	非常用発電機の修繕	令和元年 10月09日	・ 発電機の過速度停止装置の部品取換	170	・ 四国機器(株)
10	非常用発電機の保守整備	令和元年 12月17日	・ 耐用年数を過ぎた電源ユニット、バッテリー及びポンプセットの取換	630	・ 四国機器(株)
11	カーテン設置	令和2年 01月15日	・ 防災棟1階の倉庫と階段室を仕切るためのカーテンを設置	159	・ ナカノ内装 中野總一郎
12	自動ドア修繕工事	令和2年 03月23日	・ 食堂出入口の自動ドアのセンサー、戸車等の取換	214	・ (有)ドアメンテ徳島

(6) 社会貢献活動

自主防犯パトロールとして、1週間に5回、地元の富岡・見能林地区を3方面に分け、小・中学校の下校時に合わせて青色防犯パトロール活動を行っています。(元年度は145回、延べ290名が従事)

また、淡島海岸で地元小学生と一緒に流木や紙、プラスチックなどのごみを拾ったり、日頃、利用者が休憩に立ち寄る東部公園における月1回の清掃活動などの園外活動を実施。

さらに、毎月1回、第2土曜日の午後、障害の有無に関係なく気軽に茶飲み話をしたり、レクリエーションを楽しむことができる場所を提供する「ほんわかカフェ」を開設し、学園に対する理解を深めてもらいました。(1回当たり平均10名程度の来園)

3 会議の開催等

(1) 評議員会の開催

○定時評議員会

開催日 令和元年6月15日(土)
場所等 淡島学園会議室／評議員7名、理事長、監事2名出席
議 題 報告事項 平成30年度事業報告の件
第1号議案 平成30年度計算書類等の承認の件
第2号議案 理事及び監事の選任の件

○第2回評議員会

開催日 令和元年12月14日(土)／評議員全員の合意により招集の手続を省略
場所等 淡島学園会議室／評議員5名、理事長出席
議 題 第1号議案 社会福祉法人阿南淡島会定款の変更の件

(2) 理事会の開催

○第1回理事会(決議の省略)

決議日 平成31年2月18日(月)
議 題 第1号議案 淡島学園・防災棟(仮称)新築工事に係る請負業者選定の件

○第2回理事会

開催日 平成31年3月21日(土)
場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席
議 題 第1号議案 平成30年度第2回補正予算の件
第2号議案 中期事業計画決定の件
第3号議案 平成31年度事業計画及び当初予算の件
第4号議案 淡島学園・防災棟(仮称)新築工事に係る請負契約締結の件
第5号議案 定款細則、各種規程等改正の件

○第3回理事会

開催日 令和元年5月25日(土)
場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席
議 題 第1号議案 平成30年度事業報告及び計算書類等の承認の件
第2号議案 定時評議員会で選任する理事及び監事の候補者の件
第3号議案 定時評議員会招集の件

○第4回理事会

開催日 令和元年6月15日(土)／理事及び監事全員の合意により招集の手続を省略
場所等 淡島学園会議室／理事4名、監事2名出席
議 題 第1号議案 理事長選定の件
第2号議案 業務執行理事選定の件

○第5回理事会（決議の省略）

決議日 令和元年9月30日（月）

議 題 第1号議案 規程等の変更の件

○第6回理事会

開催日 令和元年12月14日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席

議 題 第1号議案 令和元年度第1次補正予算の承認の件

第2号議案 社会福祉法人阿南淡島会定款の変更の件

(3) 監事監査の実施

開催日 令和元年5月16日（木）

場所等 淡島学園会議室／監事2名出席

結 果 平成30年度の本部会計、施設会計、短期入所事業会計、相談支援事業会計の執行状況及びこれに伴う関係書類並びに法人、施設の関係書類、また、法人、施設の運営状況の各項目について監査し、適正に執行できていると認められました。

4 法人の役員等の状況

(令和2年3月31日現在)

区分	定数	役員等の氏名（敬称略）	任 期
評議員	7名	松原良明、広瀬淳之、窪田光子、大松谷武司、尾崎正憲、松原和子、内海 剛	2017年4月1日から2023年6月の定時評議員会終結時まで
理 事	6名	三牧スマ子(理事長)、石橋堯雄(業務執行理事)、田中敏彦、阪井俊弘、蟻馬 治、岩崎世都子	2019年6月15日から2021年6月の定時評議員会終結時まで
監 事	2名	東野 享 ※宝木正美監事は令和2年3月8日死去	同 上
評議員選 任・解任 委 員	3名	松崎清治(外部委員)、尾花悦子(職員) ※宝木正美委員は令和2年3月8日死去	2017年3月1日から2022年6月の定時評議員会終結時まで

5 職員の状況

(令和2年3月31日現在)

常勤 職員	常勤職員合計 ①								非常勤 職員 ②	職員の総数 ①+②
	園長	事務員	サービス 管理責任 者	生活 支援員	看護師	栄養士	相談支 援専門 員	常勤職員 合計 ①		
男	0	1	0	17	0	0	1	19	0	19
女	1	3	1	13	3	1	1	23	5	28
計	1	4	1	30	3	1	2	42	5	47
30年度	1	4	1	28	2	1	2	39	5	44

※複数の職を兼務している職員は、本務の職に計上しています。

6 法人が運営する事業内容

事業所の名称	サービスの種類	指定権者	指定の有効期間	備考
◎ 障害者支援施設 淡島学園	・ 生活介護	・ 徳島県知事	2017年10月1日から 2023年9月30日まで	・ 定員80名
	・ 施設入所支援			・ 定員70名
	・ 短期入所支援	・ 徳島県知事	2018年10月1日から 2024年9月30日まで	・ 定員2名
	・ 日中一時支援	・ 4市町の長	毎年度更新	・ 定員5名
◎ 相談支援事業 淡島学園	・ 指定特定相談支援	・ 阿南市長	2018年4月1日から 2024年3月31日まで	
	・ 指定障害児相談支援			
	・ 指定一般相談支援(地域移行)	・ 徳島県知事	2019年4月1日から 2025年3月31日まで	
	・ 指定一般相談支援(地域定着)			

※「日中一時支援」の契約市町：徳島市、小松島市、阿南市、那賀町

<相談支援に係る受託事業>

受託事業の名称	受託した事業の内容	委託先の市町	委託契約の期間	備考
○ 障害支援区分 認定調査業務	阿南市から通知のあった対象 者の障害支援区分を認定する ために必要な調査を行い報告	・ 阿南市	平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで	
○ 相談支援事業 委託事業	障害者に対する相談支援、住 居入居等の支援、成年後見制 度の利用支援などを実施	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで	委託契約の相 手先は3市町 の代表である 小松島市
○ 障害者虐待の 防止と対応に 関する支援事業 の委託	障害者虐待を受けた障害者の 保護のため、障害者及び養護 者に対して行う相談、指導及 び助言等の支援など	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで	

1 事業所運営の総括

利用者の自立と社会生活への参加の促進を図り、その育成に必要な支援及び訓練を行いました。

また、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行うことが重要と認識して、利用者及びその家族のニーズを的確にとらえた「個別支援計画」を作成し、適切なサービスが提供できるよう努めました。

さらに、できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療や福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めました。

2 福祉サービスに関する事業所の体制

(1) 人権擁護及び虐待の防止委員会

職員に対し、人権擁護及び虐待の防止に関する研修を行い、常に利用者やその保護者に対し「人権擁護及び虐待防止」等の意識を持って支援するとともに、組織体制を整備しました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 専従委員 山崎師郎、柏木多恵（以上、サービス管理責任者）
森本真由美、黒田真貴子、板東基史、松葉幸子、表原英代（以上、生活支援員）

(2) 苦情解決体制

苦情に対応しその解決を図るため、受付窓口、責任者、第三者委員等を選任するなど、苦情解決体制を整備しました。※令和元年度は3件の苦情がありました。（平成30年度は5件）

- ・ 相談窓口 淡島学園 電話（0884）22-0379/FAX（0884）22-6648
- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 受付担当 柏木多恵（サービス管理責任者）、近藤泰司（相談支援専門員）
- ・ 第三者委員 松原良明（法人評議員）、宝木正美（法人監事）※宝木委員は、去る3月8日死去

■ 苦情解決事項		
苦情の時期及び申出人	苦情の内容	学園の苦情への対応状況
① 令和元年7月6日 入所者Aの親族	利用者Aが発熱しているのに通院せず、発熱時に連絡もない。今後対応を改めるよう求められた。	連絡不足を謝罪。今後、発熱時及び回復時の連絡を約束。通院・入院の要不要の判断は、相談の後対応する旨説明。
② 令和元年9月2日 入所者Aの親族	前の部屋の利用者がテレビを投げるなど危険なため、部屋替えるなど対応を求められた。	乱暴な利用者は医師に相談中のため、少し様子を観たいこと、テレビは弁償、施錠には留意することを説明し了解を得た。
③ 令和元年9月2日 入所者Bの親	まだ暑い時期にもかかわらず、朝の散歩を始めたのは如何なものかとの注意を受けた。	9月に入り、朝は涼しくなってきたので歩き始めたもの。注意を受け、もう少し涼しくなるまで中止することとした。

■事故報告										
年度/区分	事 故 の 内 容						事故総数 (左記の計)	ヒヤリハット		
	誤 薬	異 食	転倒等	暴 力	無断外出	その他		(件数)	確認不足	無断外出
令和元年度	3	1	4	2	5	2	17	3	2	1
平成30年度	5	0	3	4	1	0	13	3	2	1

(原因と対応)

- 誤薬は3件とも朝食後の服薬の際、他の利用者の薬を飲ませたもの。いずれも確認が不十分なために起きた事故。確認行為の徹底を図った。
- 異食は、支援員室の冷凍庫から冷凍魚を持ち出し食べたもの。今後、職員不在時には支援員室の施錠の徹底を図った。
- 転倒等のうち1件は階段を踏み外し転落したもの。いずれも気を緩めることなく対応するよう指示。
- 暴力行為は、弱者に向かうことが多いので、利用者の状況把握、職員間の連携徹底を指示。
- 無断外出は、支援員が利用者の所在確認を頻繁に行うなど、きめ細やかな対応をするよう指示。
- その他は、風呂場の浴槽で溺れかけたものと手洗い時の熱湯によるやけどの2件。利用者の行動に気を付けるよう指示。
- ヒヤリハット事例については、重大な事故につながらないように、再度のマニュアル徹底を指示。

(3) 給食委員会

給食をよりおいしく食べられるよう、献立、味付け、量などについて、委託業者と学園職員が月1回協議の場を設けました。

- ・ 委託業者 「ミント」の職員、栄養士、調理員
- ・ 淡島学園 三牧スマ子（園長）、原田律子（栄養士）、
山崎師郎、柏木多恵、森田真由美（以上、サービス管理責任者）

(4) 防災委員会

火災だけでなく、地震、津波による被害を防ぐため、毎月1回話し合いの場を設けました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 豊岡正志（防災管理者）、山崎師郎、柏木多恵、原 和男、森田真由美（以上、サービス管理責任者）、吉野輝明、森本真由美（以上、生活支援員）

(5) 班長会

利用者のサービス向上に向けて、ひまわり班をはじめ5つの班の現状と課題を検討するため、毎月1回開催しました。

- ・ 構成員 三牧スマ子（園長）、山崎師郎、柏木多恵、原 和男、森田真由美（以上、サービス管理責任者）、赤松俊明（ひまわり班）、森本真由美（アサヒ班）、豊岡正志（園芸班）、高橋和架子（ソーイング班）、板東基史（カモト班）

3 支援事業実施報告

(1) 生活介護事業

昼間において常に介護を必要とする利用者について、各自の障害の程度や希望を取り入れて、生活班と作業班に分けて個別支援計画を立て、各班独自の支援を行いました。生活班は、基本的な生活習慣である食事、排せつ、清潔、睡眠、衣類の着脱等に主眼を置いて実施。また、作業班では、利用者の能力に応じた作業訓練を実施し、勤労意欲、自主性、協調性を養い、社会に役立てるという自覚を持ってもらうといった支援を行いました。

(2) 施設入所支援事業

夜間における入浴、排せつ、食事等の介護を行い、夜間の生活におけるくつろぎの場を提供し、就眠の確保を図るように支援。職員は利用者一人ひとりの要望に応じて、常にきめ細やかな支援を行うよう心がけてきました。

(3) 短期入所事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、短期入所させ、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を行いました。

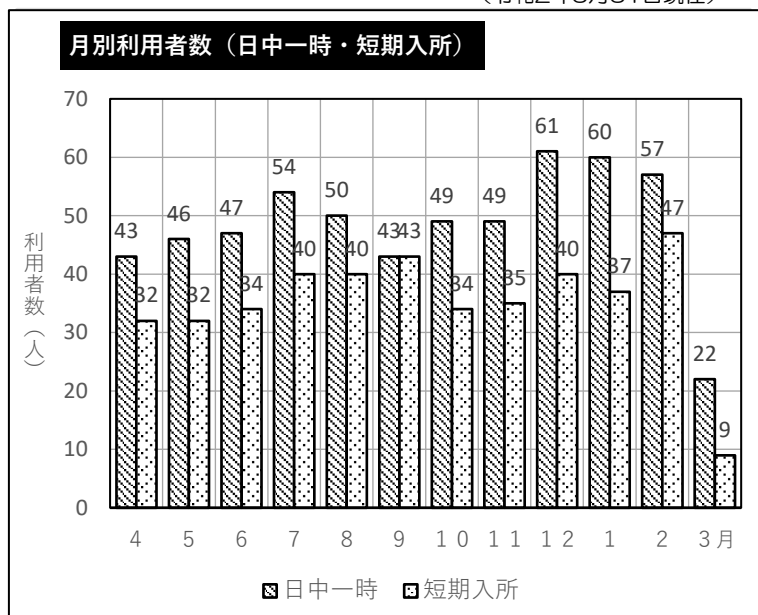
(4) 日中一時支援事業

障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の時間を提供するため、障害者及び障害児に活動の場を用意し、社会に適應するための日常的な訓練を支援しました。

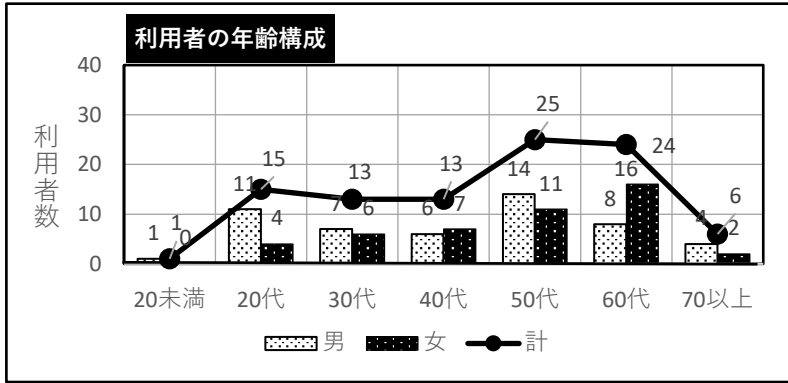
<支援区分別利用者の状況> ()内は平均利用者数

(令和2年3月31日現在)

支援区分		01年度	30年度
生活介護	男	51	52
	女	46	46
	計	97(86.1)	98(85.2)
施設入所支援	男	40	40
	女	36	36
	計	76(70.4)	76(69.2)
短期入所事業	男女延べ人数	423	439
日中一時支援	男女延べ人数	581	431

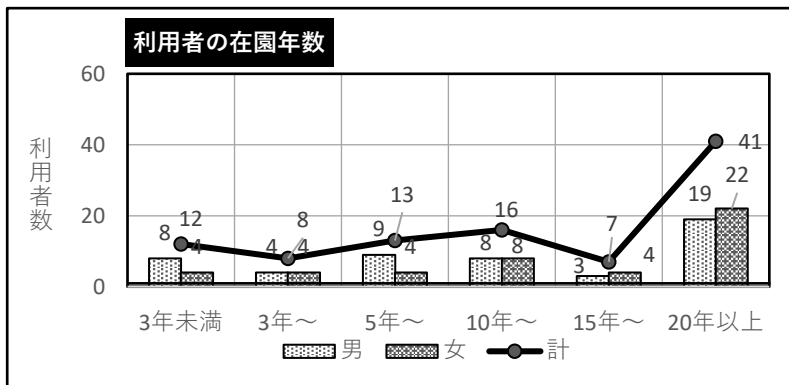


<生活介護・利用者の年齢構成・在園年数>



<利用者の年齢構成>

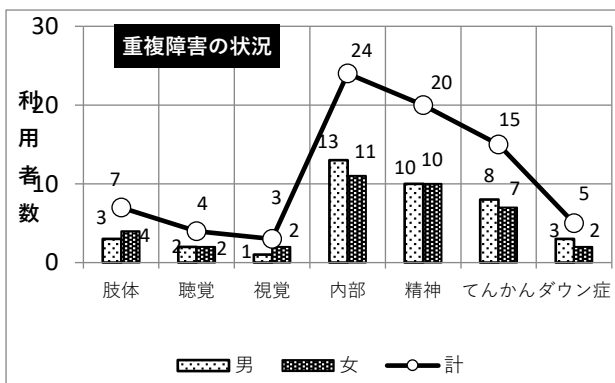
- 最高年齢 88歳
- 最低年齢 19歳
- 平均年齢 49.1歳



<利用者の在園年数>

- 最短は 1年未満
- 最長は 56年
- 平均は 22.1年

<重複障害の状況、障害の程度・区分>



療育手帳				障害支援区分			
程度	男	女	計	区分	男	女	計
A1	26	12	38	3	1	7	8
A2	19	20	39	4	12	11	23
B1	6	11	17	5	10	14	24
精神	0	3	3	6	28	14	42
計	51	46	97	計	51	46	97

<生活介護・市町村別利用者の状況>

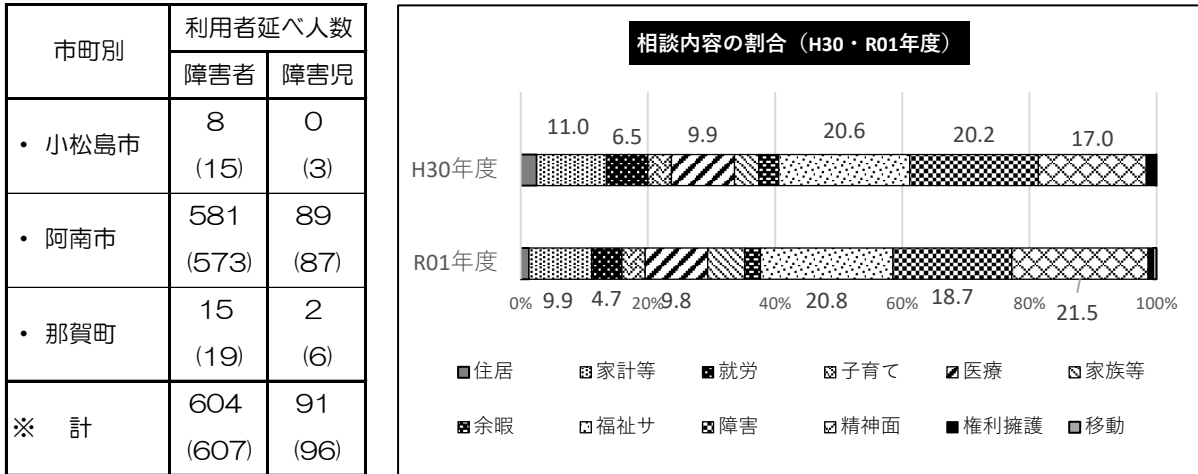
(令和2年3月31日現在)

令和元年度	市町村別																合計
	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	上勝町	佐那河内村	神山町	那賀町	美波町	海陽町	北島町	上板町	大阪市	
男	6	1	10	24	1	1	0	0	0	0	2	3	1	1	1	0	51
女	7	0	9	20	0	1	3	1	1	1	2	0	0	0	0	1	46
計	13	1	19	44	1	2	3	1	1	1	4	3	1	1	1	1	97
30年度	13	1	21	43	1	2	3	1	1	1	4	3	1	1	1	1	98

(5) 相談支援事業

地域の障害者または障害者の保護者からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うとともに、これらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行いました。また、利用者別のサービス利用計画の作成等も行いました。

<相談支援の利用状況> ()内は平成30年度の状況



4 利用者へのサービス提供の状況

(1) 健康管理支援

高齢化に伴う体力の低下とともに疾病が増えることから、年2回の定期健康診断により疾病の早期発見・早期治療に努めました。また、高齢者に対してはそれぞれの健康状態に応じて内科検診のほか、歯科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の検診も行うなど、きめ細やかな支援に努めました。

※令和元年度の医療機関受診の延べ人数は、全体で1,104人(1人平均 15回)

- ・男子 465人(1人平均12回)
- ・女子 639人(1人平均18回)

■入所者の医療機関受診状況						
医療機関名	診療科目	所在地	年間の受診状況(人)			
			男子	女子	合計	
協力医療機関	・村上内科外科医院	内科・外科	阿南市	51	112	163
	・富田病院	精神科	美波町	12	47	59
	・八多病院	精神科	徳島市	46	73	119
	・杜のホスピタル	精神科	阿南市	132	92	224
	・神原歯科医院	歯科	〃	70	64	134
	・木下婦人科医院	婦人科	〃	0	7	7
その他	・上村皮膚科	皮膚科	〃	15	24	39
	・阿南医療センター	内科ほか	〃	40	43	83
	・その他			99	177	276
(合計)				465	639	1,104

■利用者の健康管理等		
実施区分	実施医療機関等	実施状況等
○健康相談	・村上内科外科医院	月1回
○定期健康診断	・村上内科外科医院（4・9月）	年2回
○成人病検診	・木下婦人科医院（4月）	年1回
○レントゲン診断	・とくしま未来健康づくり機構（7月）	年1回
○歯科診療	・歯科医師会口腔検診センター（1月に2回）	年1回
○インフルエンザ予防接種	・村上内科外科医院（11月）	年1回
○臨床実習・歯磨き指導	・四国歯科衛生士学院専門学校（6・11月各2回）	年4回
○長期投薬者の健康診断	・富田病院、八多病院、杜のホスピタル	随 時
○害虫（ゴキブリ）駆除	・(株)ニッシンテクノス（5・11月）	年2回
○AEDの設置	・自動体外式除細動器	保健室

（2）給食支援

健康管理の面から肥満、高血圧、高コレステロール、糖尿病、痛風、アレルギー等の予防に力を入れ、食事の摂取量や内容、運動量に留意してきました。また、既に病気を持つ利用者には担当医の指示に従い、療養食献立と投薬で回復を図ってきました。

（3）災害対応支援

災害対応の避難訓練は、昼間だけでなく深夜の発災も想定して実施しました。また、高齢者や身体障害のある利用者が多いため、津波に対応した訓練は毎月実施しました。そのほか、AEDの使用に熟練できるよう全職員を対象にした講習会を行うとともに、テレビや新聞などの災害報道を職員や利用者に周知することにより、防災意識が高まるよう努めました。

また、災害に対応するための「防災棟」を新築。津波や洪水の際に利用者が数日間避難できる場所と備蓄品の置き場、利用者の衣類等の保管庫を設置しました。

（4）保健衛生

常に手洗い、消毒などに留意し、食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防に努め、特に3月に入って感染が拡大してきた「新型コロナウイルス」感染防止対策として、手指消毒、園舎内消毒、マスク着用、入所者の外泊及び通所による利用の制限などを行いました。（第1編 法人全体の部2p参照）

（5）クラブ活動

習字や絵画の作品は力作が多いことから、展覧会で高い評価が得られました。また、日舞クラブは外部から指導者を招いており、踊りを通じて礼儀作法や集中力を身に付け、心を豊かにすることができました。

（6）環境整備と施設整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓・清潔に努めるとともに、月1回の「環境の日」を設けて、各場所の清掃を実施しました。また、施設・設備が壊れたりしているのを発見した場合、直ちに修理等を行うなど、利用者が安心して心地よい生活ができるよう努めました。（第1編 法人全体の部の3p「施設・設備の整備状況」を参照）

(7) 職員の資質向上

生活介護と入所支援の必要な知識や技能を身につけ、障害の特徴と留意すべきことを理解し、援助に必要な知識や技能を具体的に捉えるなど、人的資源の提供に努めました。

また、支援担当職員の資質向上に向けては、月1回の施設内研修に加えて、外部の研修会への参加を促進するなど、援助に必要な知識や技能が高められるよう努めるとともに、社会福祉士の資格取得費用の半額を補助することで有資格者が増えるよう努めました。

※元年度は2名が「精神保健福祉士」の資格を取得。

学園の有資格者は社会福祉士6名、精神保健福祉士3名。(再掲)

■施設内研修			
月	研 修 内 容	講師(事例発表者)	参加者
4	防火器具の取扱いについて	防災委員	32
	防災教育(避難場所・危険個所の確認と防災マニュアル)	防火管理者	32
5	人権尊重について(講演・障がい者虐待を考える)	権利擁護センター 秋月卓実氏	28
6	交通安全について(講習)	阿南市定住促進課 坂本和則氏	27
7	感染症の基礎知識と予防採択(演習・講習)	阿南医療センター 幸木千夏氏	31
8	防災教育・消火訓練・器具操作	防火管理者・事業者	32
9	防災基本講座(講演)と起震車体験	南部総合県民局 小西補佐	35
10	心肺蘇生法の実技	阿南市消防本部消防署	51
11	心肺蘇生法の実技	阿南市消防本部消防署	51
12	虐待防止研修(アンガーマネジメント)	虐待防止委員	31
1	火災報知機の操作・地震時の避難訓練	防災委員	31
2	来年度に向けての見直し①/作業収益分配金の評価	生活支援員	32
3	来年度に向けての見直し②	生活支援員	31

(444)

■施設外研修			
月	研 修 内 容	出 席 者	延べ人数
4	対人援助職のための接遇研修(26日/アスティ)	事務室	1
5	社会福祉法人経営者協議会総会及びセミナー(27日/グランヴィリオ)	事務室	1
	新任職員研修(29・30日/総合福祉センター)	生活支援員	2
6	チームリーダー研修(18・19日/総合福祉センター)	生活支援員	2
	知的障害関係施設職員研修(27日/水産会館)	生活支援員3名	3
7	強度行動障がい支援者養成研修(1・2日/総合教育センター)	生活支援員	2
	受援力セミナー(2日/グランヴィリオ)	生活支援員	1
	第1回日中活動支援部会研修(4日/交流プラザ)	生活支援員	1
	職場内研修担当職員養成研修(10日/教育会館)	生活支援員	1
	阿南保健所管内集団給食施設協議会総会・研修会(18日/保健所)	栄養士	1
	中四国地区知的障害関係施設職員研究集会(25・26日/グランヴィリオ)	生活支援員3名	6
	第1回生活支援部会研修(29日/交流プラザ)	生活支援員	1

(前頁からの続き)

月	研 修 内 容	出 席 者	延べ 人数
8	社会福祉法人制度改革対応セミナー（7日/グランヴィリオ）	事務室	1
	対人援助職のためのコミュニケーション研修・上級編（8・9日/水産会館）	生活支援員	2
	記録の書き方研修（20日/総合福祉センター）	生活支援員	1
	四国地区知的障害福祉関係職員研修会（22・23日/丸亀市）	生活支援員	2
	相談支援従事者・専門コース別研修（29日/交流プラザ）	相談支援専門員	1
	福祉職員のためのレクリエーション研修（30日/ろうきんホール）	生活支援員	1
9	相談支援従事者・初任者研修（2・9日/総合教育センター）	生活支援員2名	4
	相談支援従事者・現任者研修（2・9日/交流プラザ）	生活支援員2名	4
	クレーム対応力強化セミナー（10日/総合福祉センター）	生活支援員	1
10	安全運転管理者講習（3日/夢ホール）	生活支援員	1
	相談支援従事者・現任者研修（3・4日/交流プラザ）	生活支援員2名	4
	相談支援従事者・初任者研修（10・24・25日/総教センター・交流プラザ）	生活支援員2名	6
	県集団給食施設協議会総会・研修会（16日/総合福祉センター）	栄養士	1
	第2回日中活動支援部会研修（17日/交流プラザ）	生活支援員	1
	管内集団給食施設協議会・災害対策研修会（31日/陸自徳島駐屯地）	サービス管理者・栄養士	2
11	第2回総務部会研修（13日/交流プラザ）	事務室	1
	中堅職員ファーストステップ研修（13・14日/総合福祉センター）	生活支援員	2
	管内集団給食施設協議会・栄養士調理師研修会	栄養士	1
	公正採用選考人権啓発推進員研修（26日/ひまわり会館）	事務室	1
	発達障がい者支援専門員養成研修（29日/ハナミズキ）	生活支援員	1
12	障がい者虐待防止・権利擁護研修（2日/総合教育センター）	サービス管理責任者	1
	発達障がい者支援専門員養成研修（3・12・25日/ハナミズキ）	生活支援員	3
	対人援助職のためのコミュニケーション研修（23日、2月3日/アスティ）	生活支援員	2
1	医療的ケア児等コーディネーター養成研修（7・8日、2月18・19日/総教センター）	相談支援専門員	4
	発達障がい者支援専門員養成研修（7日/ハナミズキ）	生活支援員	1
	社会福祉法人制度改革対応セミナー（14日/グランヴィリオ）	事務室	1
	第2回地域支援部会研修（27日/交流プラザ）	生活支援員	1
	サービス管理責任者等・基礎研修（28・31日/総合教育センター）	生活支援員2名	4
	強度行動障がい支援者養成・実践研修（29・30日/総合教育センター）	生活支援員	2
2	保護者会中部・南部ブロック研修（3日/交流プラザ）	生活支援員	1
	第3回総務部会研修（12日/交流プラザ）	事務室	1
	第3回日中活動支援部会研修（13日/交流プラザ）	生活支援員	1
	働き方改革関連法対応セミナー（17日/総合福祉センター）	事務室	1
	南部圏域福祉避難所研修会（20日/南部県民局美波）	生活支援員	1
3	新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、各種会議・研修会はすべて中止となった		

年間の研修等受講者の延べ人数→（ 84 ）

5 利用者の作業支援の状況

(各班の人数は令和2年3月31日現在)

(1) ひまわり班

(21名/男9名・女12名 うち通所3名(男2名・女1名))

身体の保持と情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立及び身体各部の機能訓練を行い、心と体の調和した発達を支援。特に、個々の能力を把握し、障害の程度に応じた機能訓練及び基本的な生活習慣を重点に支援しました。また、各種運動を取り入れ、体力づくりと機能低下防止に努めました。

(2) アサヒ班

(21名/男12名・女9名 うち通所7名(男2名・女5名))

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びを知るとともに、他の利用者との協調性を図り、責任感を持つようにしました。また、生活支援を通じて清潔感を養成し、規則正しい生活習慣を身につけるように努めました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力を養成しました。

(3) 園芸班

(18名/男11名・女7名 うち通所2名(男1名・女1名))

一連の作業を行う際、個々の能力にあった役割を分担し、作業意欲や安定性、確実性の養成とともに興味や自信を持ち、楽しく作業に参加できるように支援しました。そして、商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを養わせるとともに、作業への参加が社会経済活動であることを認識するように努めました。

また、地域との交流を促進するため、清掃活動やボランティア活動に参加するなど、社会性の向上を図りました。さらに、温室を利用した花づくりに取り組むことで、水やりや草取りなど花を育てる過程を経験し、ものづくりの楽しさや大切さを知るよう努めました。

(4) ソーイング班

(16名/男3名・女13名 うち通所1名(男0名、女1名))

手芸品などの制作を通じて、ものをつくり上げる喜びと楽しさを知り、協調性や責任感を持てるように支援しました。作ったものが商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを養うとともに、作業が経済活動であることを認識するよう努めました。また、洗濯作業を通じて清潔感を養い、生活のスキルが高まるよう支援しました。

(5) カモト班

(21名/男16名・女5名 うち通所8名(男5名・女3名))

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びや他の利用者との協調することの大切さを知り、責任感を持つよう努めました。また、生活支援を通じて清潔感を養成し、規則正しい生活習慣を身につけるようにしました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力を持てるよう支援しました。

6 利用者の活動状況

(1) 利用者の日課

利用者の日課表		
	平 日	土 日 祝 日
07:00	起床・洗顔	起床・洗顔
07:15	手洗い、朝食準備	手洗い、朝食準備
07:30	朝食、終了後自由時間	朝食、終了後自由時間
08:30	ホームルーム、検温	08:30~10:00 朝会、体温・血圧測定 (日曜)洗面用具の点検消毒など
08:45	職員朝会	
09:00	利用者朝会	
09:10	モーニングウォーク	
09:30	清掃、人数確認、洗顔、歯磨き、検温 班別支援(作業)、保健衛生、血圧測定	10:00 ティータイム 自由時間(買物実習)
11:50	手洗い・昼食準備	手洗い・昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	班別支援(作業)、検温、入浴	自由時間(買物実習)、検温
15:00	体操、ジュース、班別支援(作業)、検温	ティータイム、自由時間
16:00	居室の清掃	居室の清掃、自由時間
16:30	ホームルーム、自由時間	
16:45	手洗い・夕食準備	手洗い・夕食準備
17:00	夕食、終了後自由時間	夕食、終了後自由時間
17:30	自由時間	自由時間
19:00	検温	検温
21:00	就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝

※入浴は、男女とも、6月～9月は月・火・水・金、10月～5月は月・水・金に実施。なお、必要な場合は適宜実施。原則として、大浴場の入浴は13時から女子、14時から男子が使用。

(2) 年間の活動状況

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
■4月			
○園芸班ピクニック(9日/勝浦方面)	18名(4)	●自立班買物実習(14・21日/アピカ)	13名(2)
○アサヒ班ピクニック(11日/大神子公園)	19名(7)	●引率による買物実習(25日/アピカ)	20名(6)
○ひまわり班ピクニック(16日/大塚鷲敷)	19名(7)		
○カモト班ドライブ(18日/竜宮公園)	19名(7)		
○ソーイング班ピクニック(23日/しおかぜ公園)	15名(4)		
○パースデーランチ(24日/ドライブイン阿南)	5名(2)		
●保護者会総会(21日/学園内)	保護者38名		
○春の定期健康診断(11～23日/村上内科)	91名		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分				
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		参加者数	スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	参加者数
■5月				
○ひまわり班ピクニック(7日/しおかぜ公園)	19名(7)	○ノーマピック大会(11日/鳴門運動公園)	14名(2)	
○バースデーランチ(7日/ドライブイン阿南)	4名(3)	●自立班買物実習(12・19日/アピカ)	13名(2)	
○春の健康ウオーク(15日/学園周辺)	89名(32)	○阿南市障害者体育大会(25日/サンアリーナ)	18名(3)	
●親子ふれあいの日(23日/ホテル石松)	87名(34)	●引率による買物実習(28日/アピカ)	20名(6)	
	保護者38名			
○歯周病予防検診(31日/園内)	15名(4)			
■6月				
○日帰り旅行①(6日/淡路・おのころ)	20名(6)	●自立班買物実習(2・16日/アピカ)	13名(2)	
○日帰り旅行②(11日/室戸廃校水族館)	19名(6)	●引率による買物実習(25日/アピカ)	20名(6)	
○日帰り旅行③(18日/月見ヶ丘海浜公園)	19名(7)			
○ひまわり班ピクニック(13日/竜宮公園)	20名(7)			
○バースデーランチ(17日/ドライブイン阿南)	4名(2)			
■7月				
○マックへ行こう(1・2・5・9・10日)	30名(10)	●作品展見学(5日/那賀川図書館)	17名(3)	
●美化活動(6日/学園内)	保護者32名	●自立班買物実習(7・14日/アピカ)	13名(2)	
○映画に行こう(7日/イオンシネマ)	22名(6)	○夏期障害者スポーツ交流大会(26日/サンアリーナ)	8名(2)	
○アサヒ班行楽(16日/しおかぜ公園)	19名(7)	●引率による買物実習(30日/アピカ)	19名(6)	
○マックへ行こう(11・12・17・18日)	24名(8)			
○寿司一貫へ行こう(23日)	15名(4)			
○バースデーランチ(29日/ドライブイン阿南)	7名(2)			
■8月				
○バースデーランチ(21日/ドライブイン阿南)	7名(2)	●夏の買物実習(22日/アピカほか)	13名(5)	
		●夏の買物実習(27日/しまむらほか)	9名(4)	
■9月				
○カモト班行楽(3日/土柱そよ風公園)	19名(6)	●自立班買物実習(1・15日/アピカ)	13名(2)	
●美化活動(7日/学園内)	保護者30名	●引率による買物実習(12日/アピカ)	19名(6)	
○バースデーランチ(13日/ドライブイン阿南)	6名(2)			
○ぶどう狩り(13日/松田農園)	8名(2)			
○選ぶ行事(17日/カラオケ・ワクワク)	10名(3)			
○選ぶ行事(19日/ケーキ作り・ハレルヤ)	7名(3)			
○選ぶ行事(19日/ぶどう狩り・桑村農園)	8名(3)			
○選ぶ行事(24日/勝浦方面ドライブ)	24名(5)			
○還暦を祝う会(25日/学園内)	32名			
○選ぶ行事(26日/ボウリング・ラウンドワン)	16名(5)			
○秋の定期健康診断(10~30日/村上内科)	90名			

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分				
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		参加者数	スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	参加者数
■ 10月				
○停電に伴う食事会①(2日/ホテル石松)	88名(34)	●エナジー見学(1日/文化の森)	21名(3)	
○停電に伴う食事会②(10日/ホテル石松)	88名(33)	●地元消防団と合同消火訓練(5日/学園)		
●学園運動会(18日/サンアリーナ)	92名(39)	●自立班買物実習(6・13日/アピカ)	13名(2)	
	保護者61名	●クリーン活動(15日/淡島海岸)	17名(4)	
○ソーイング班行楽(24日/あんみつ館)	15名(4)	○ノーマピック大会(27日/交流プラザ)	10名(2)	
○バースデーランチ(25日/ドライブイン阿南)	6名(2)	○ソフトバレー合同練習(30日/前山公園)	5名(2)	
○園芸班行楽(24日/うだつの町並み)	16名(4)			
■ 11月				
○害虫駆除・食事会(7日/ホテル石松)	89名(37)	●睨町文化祭見学(3日/睨町コミセン)	7名(1)	
●親睦日帰り旅行(15日/神戸・須磨水族館)	15名(5)	●自立班買物実習(3・17日/アピカ)	13名(2)	
	保護者20名	○ソフトバレー合同練習(5日/前山公園)	5名(2)	
○バースデーランチ(20日/ドライブイン阿南)	6名(2)	●年末買物実習(22日/アピカ)	16名(8)	
		●年末買物実習(26日/阿南市内)	23名(6)	
■ 12月				
○バースデーランチ(2日/豚太郎)	6名(3)	●ふれあいまちづくりフェア(8日/夢ホール)	6名(1)	
○年末大掃除(13・17日/学園内)		●餅つき・四電交流会(10日/学園内)	ボランティア14名	
○クリスマス会(20日/学園内)	93名(39)	●年末買物実習(12日/マルナカ新浜ほか)	14名(3)	
		●スローリーライブ(14・15日/交流プラザ)	6名(6)	
■ 1月				
○初詣(1日/円長寺)	11名(2)	●自立班買物実習(12・19日/アピカ)	13名(2)	
○成人を祝う会(15日/学園内)	対象者1名	●引率による買物実習(23日/アピカ)	20名(6)	
○バースデーランチ(21日/ドライブイン阿南)	4名(2)			
■ 2月				
○バースデーランチ(6日/ドライブイン阿南)	8名(3)	●自立班買物実習(2・16日/アピカ)	13名(2)	
○新年会(20日/学園内)	99名(37)	●引率による買物実習(25日/アピカ)	19名(6)	
■ 3月				
○ミニ淡島祭(17日/学園内)	利用者全員	●自立班買物実習(3・17日/アピカ)	12名(2)	
○厚労省の歯科検診事業(20日/学園内)	10名	○モーニングウォーク(25日/学園周辺)		
○バースデーランチ(25日/外出中止)	品物10名			
○送別会(31日/学園内)	退職者4名			

※上記のほか、学園内でハッピー体操(毎月3回)、絵画教室(毎月2回)、書道教室(毎月2回)、日舞(月2回)、出張スポーツ(月2回)、利用者の散髪(年8回)を実施。

